

令和1年7月3日
株式会社シーエス・ワンテン
ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社

ディズニージュニア 番組審議会議事録

- ・日時 令和1年6月3日(月)14:00～
- ・場所 東京都港区虎ノ門 1-23-1
ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社 27階会議室
- ・出席者 審議委員総数 8名
出席審議委員数 6名
書面参加委員数 2名

(出席委員名)

- 委員長 山田 顕喜 (日本大学芸術学部映画学科元教授)
- 副委員長 前田 耕作 (生涯教育新聞社代表)
- 委員 木下 美子 (元青山学院初等部英語教諭)
- 委員 土屋 礼子 (朝日新聞社 執行役員 企画事業担当 兼 企画事業本部長)
- 委員 名越 康文 (精神科医・評論家)
- 委員 三枝 幹夫 ((株)オリコン ME WEB 編集本部 ORICON NEWS 編集部 編集長)

(書面参加委員名)

- 委員 阿部 京子 (ナレーター・キャスター・(有)タイムリーオフィス代表)
- 委員 藤田 興彦 (公益法人児童育成協会理事長)

(衛星基幹放送事業者：株式会社シーエス・ワンテン)

- 福田 泉 (代表取締役社長)
- 谷 俊之 (編成局長)

(番組供給事業者：ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社)

- 小林 信一 (代表取締役社長)
- 藤 慶英 (メディア戦略 シニアマネージャー)
- アイリーン・ハンベルガー (編成 ディレクター)
- 竹内 文吾 (編成 マネージャー)
- 待鳥 雅之 (編成 アシスタント・マネージャー)

- ・議題
 - (1) ディズニージュニアの番組編成について
 - (2) 審議番組「おしゃれにナンシー・克蘭シー」について

・議事内容

(以下、*：委員からの意見・質問、→：ディズニーの説明・回答)

(1) ディズニージュニアの番組編成について

→6月9日(日)はDonald Duckの誕生日で、この日は「ミッキーマウスとロードレーサーズ」などを4時間放送する特別編成となっている。

→6月15日(土)には、「ドックはおもちやドクター」の特別編成を組んでいる。

→「マイルズのミッション・フォース・ワン」(「マイルズのトゥモローランドだいさくせん」の4期目)がいよいよフィナーレを迎える。

*「カリメロ」のような、日本の懐かしい作品も編成されているが？

→こちらは近年イタリアでリメイクされた作品。現在では放送していないが、「みつばちマーヤ」や「ビッケはちいさなバイキング」といった、懐かしいタイトルの欧州によるリメイク版があり、当チャンネルでの扱いがあった。

(2) 審議番組「おしゃれにナンシー・克蘭シー」について

放送概要：

2019年2月より放送開始、レギュラー枠は土日の14:00～と19:30～。

各22分(2話構成)×25本～

番組内容：

想像力が豊かな6歳の女の子のナンシーが主人公で、「ファンシー」を求めるナンシーの姿を通して、自己表現・個性・創意工夫・家族愛といった不変のテーマを、ユーモラスに描いた作品。

→作品の見どころは、ナンシーが、ごく普通の毎日を自分らしくファンシーなものに変えて、理想と現実のちがいを受け止めつつも、それを前向きにとらえて楽しむ姿。

また、ナンシーの両親が、子供の個性というものを認めつつも、現実的なこともしっかりと学ぶように上手く導く姿は、子育てのヒントになる。

→原作は「Fancy Nancy」という絵本で、ディズニーのベテランスタッフが映像化した作品。ほぼ全エピソードにおいて、テレビシリーズならではのオリジナルソングが登場するため、歌もこのシリーズの魅力の一つとなっている。また、ナンシーが使うフランス語のフレーズや少し気取った英語の表現も特徴的。

- *全体的にパステルカラーの画がとてもきれいで、色使いも良い。
- *まるでお人形が動いているような、質感のある画に驚いた。
- *庭にプレイハウスがあって自分で自由にできる、というのは男女問わず、子供の夢だと思う。現状では日本の環境だと難しいと思うが、ストーリーの内容には惹かれるものがある。
- *「ファンシー」という言葉の奥がとても深い。人それぞれの幸せ（ファンシー）がある、幸せになれること、といった解釈は素晴らしい。
- *安心して子供に見せられる内容。
- *アニメーション的な動きについても、緩急織り交ぜて、子供にとっても楽しんで見られる作品。
- *主人公のナンシーは普段の服装がカラフルで特徴的だが、周りの子は地味だ。その中で、彼女のファッションがごく自然に受け入れられている土壌の深さを感じる。
- *ただ単純に可愛い子どものストーリーではなく、全編を通して、家族や友達など人との関わりなど学ぶべき大切なことがたくさん含まれているところが良い。



- ・審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日：
今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた令和１年６月３日以降、各番組のプロデューサー、担当者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で、活用し、さらなる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めていく。
- ・審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日：
令和１年７月以降に、ホームページに審議会概要を掲載、公表する予定。

以上